

様式第3号(第9条関係)

## 会議録(要点筆記)

会議名	第1回嵐山町団体補助金検討委員会					
開催日時	平成20年12月10日(月)	開会		午後 1時30分		
		閉会		午後 3時30分		
開催場所	嵐山町役場 205会議室					
会議次第	1 委員長および副委員長の選任について 2 委員会の進め方 3 団体補助金の見直し基準について 4 次回会議開催予定					
公開・非公開の別	非公開(次回より公開)	傍聴者数		0人		
非公開の理由 (非公開の場合)	委員の承諾を得ていないため					
委員出欠状況	委員長	杉田 啓一	出	委員	宮本 紀子	出
	副委員長	田中 重喜	出	委員	田村 昭	出
	委員	石原 紀子	出			
事務局	町長			岩澤 勝		
	政策経営課 課長			金井 三雄		
	政策経営課 副課長			中島 宏芳		
	政策経営課 主査			加藤 憲史		

議事に先立ち、町長挨拶の後、出席者の自己紹介、事務局紹介を行なう。議事の進行は、委員長、副委員長選出まで町長が行なう。

#### 1 委員長および副委員長の選任について

町長 嵐山町補助金検討委員会設置要綱第5条に基づき、委員長と副委員長の選出をお願いする。

事務局に委員長、副委員長について案はないのか。

事務局では、副案は考えておりませんが、杉田委員をお願いする。

- ・ 事務局推薦により、全員賛成により委員長は杉田委員に決定。  
副委員長については、委員長より田中委員との推薦があり、全員賛成により副委員長は田中委員に決定。
- ・ 委員長・副委員長あいさつの後、議事に入る。

#### 2 委員会の進め方

嵐山町団体補助金設置要綱、嵐山町団体補助金等の見直しの方向性（事前配布資料）にもとづき、今後のスケジュール等について説明する。また会議録の公開、委員会の一般傍聴の説明（次回会議より）し了承を得る。

#### 3 団体補助金の見直し基準について

各委員よりそれぞれ意見を求める。

委員長

特別団体（現在9団体）についての説明をいただきたい。

嵐山町補助金適正化委員会において区分けした団体で、町の代替事業（委託等）を行っている団体や、国県の補助金を受けて事業を行っている団体です。

「見直しの方向性」に示してあるように、今回の見直し基準外の団体と考えております。

特別団体も含め大枠である程度の区分が出来るのでは。

この委員会は、個別の団体ごとに補助金について査定する委員会ではないと考えておりますが、個々の事情を考慮して考えると複雑で大変難しい問題です。「見直しの方向性」の内容については賛同できるのですが、決算書や繰越金の金額で増減をするのではなく（繰越金を残さないように事業消化することも可能なため）事業内容で判断できるよう、数値化（事業目標・事業効果）出来れば判断しやすいと思います。

公益的な事業とあるが、公益的な事業とは何か、その判断がむずかしいのでは。

獅子舞などについては伝統文化の継承という観点からも行政として保全していく責任があると思います。特別団体に入れられる団体が他にもあるのではないかと。

補助金がなくなると活動自体をやめてしまう団体もあるのでは。

補助団体一覧に関係課が列挙してあるが、生涯学習課などはかなりの数の団体を抱えている。何人の職員で対応しているのかは知りませんが、この団体の事務だけで莫大な時間が割かれ他の事務に割く時間を奪われているのではないか。

この委員会は「見直しの方向性」の基準の妥当性について検討するものと思っているのですが、そのなかで特に評価基準シートとはどのようなものなのか、この評価基準シートの内容が重要だと思います。どのようなものなのか事務局で何かあるのであれば提示していただきたい。

平成 21 年度原則廃止とあるが、特別団体を除いた補助団体について 0 という考え方でいいのか。

補助金を廃止するのではなく、新たに申請をしていただいて「見直しの方向性」に基づいて補助金を決定していくということです。

補助金の申請書とこの評価基準シートが連動したものにできればいいと思います。

#### 委員長

委員会としての検討事項の確認なのですが、「見直しの方向性」についての委員会として協議していくのだと思いますが、再度確認のために事務局から説明してください。

「見直しの方向性」についての検討をお願いするのですが、その中で終期の設定・補助率・補助対象外経費等であるとか、基準シートについて定義しております。このことについてご協議していただければと考えております。

基本的な路線として、基準シート、それに基づく申請書により数値化（事業目標・事業効果等）も含め確認可能になればいいと思いますが、町長のあいさつにもあったようにコミュニティー、安全安心等のテーマ別のくくりを設けることも必要だと思います。

企業であれば長期計画を設定し、毎年その目標に対して評価・見直しを行い、そうして自分たちの企業目標を達成していくわけです。それには、シート自体がそういうことを書かせるものになっている。補助団体においても長期計画がないと単年度ごとの計画・申請ができない。今回の基準シートなり申請書にこういったことを求めていくことが必要であり、これにより補助金の継続性も出てくるし、当然見直しをするということに結びついてくると思う。

町では現在第 4 次嵐山町総合振興計画において 3 年ローリングの事業計画を行っています。これと同じで、各施策の実現のために事業が設定されており、数値化した目標をもとに毎年度評価見直しをかけています。補助金についてもこれと同様であると基本的に考えています。

一般の町民の視点に立つと、補助金といえば何かの事業に対する補助という考えが強いと思います。なにかしかりとした事業計画があり、その事業費に対する補助であるというしかりとした根拠がなければ理解を得られない。難しいところではありますが今後公表していくのであれば、なおさら明確にしておく必要があると思う。

## 町長

現在町では地域コミュニティー事業を行っていますが、3年終期の3年目を迎えています。各地域で企画立案し申請をしていただいた各事業についてもそれぞれ違いがあります。年間通した活動もあれば、単発的なものもあります。当然単年度だけで評価することは難しい面もありますが、地域を活性化するという目標は同じで各地域が自主性を持って活動の方法を再検討するなど、3年というくりがあることにより良い方向に向かっていると思います。

地域経営の視点に立つと、いままでのような行政が主導で行うものではなく、時間がかかるかもしれませんが、あくまで地域の自主性により活動し、よりよい地域づくりをめざしていただきたいと考えております。

また、公表していく上で、他の町民から見てわかりやすく、また説明責任をはたせるものである必要があります。

その他の意見として以下の意見がだされた。

- ・ 数値化し判断するのは難しいのではないか。
- ・ 終期の設定について違和感がある。
- ・ 見直しの方向性に入れる表現方法について変えてほしい部分がある。
- ・ 活動をやめてしまう団体がでてくるのでは。

## 委員長

細かい部分でご意見もいろいろあると思いますが、資料を持ち帰っていただき、会議を効率よく進めるために、もう一度次回の会議までに再検討してきていただければと思います。

次回の会議の参考資料として各団体の事業計画を用意していただきたい。どういう団体がどのような事業を行っているのか大まかに把握したいため、可能な範囲でかまわないので用意してもらいたい。

団体の人数もわかればお願いしたい。

次回の会議通知と一緒に事前配布させていただきます。

## 4 次回会議開催予定

- ・ 12月19日(金)午後1時30分から 開催に決まる。
- ・ 第1回会議閉会 午後3時30分

上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。

平成20年 12月19日 署名委員 石 原 紀 子

平成20年 12月19日 署名委員 杉 田 啓 一